

医療環境制御センター 感染制御部

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	岩崎博道	H23.12月～
----	------	----------

2. 研究概要

研究概要

院内に入院中のコンプロマイズドホストに合併する真菌および細菌感染症を中心として、診断と治療の臨床的検討を進めている。中でも病原診断が難しい発熱性好中球減少症 (febrile neutropenia) 症例に対する新しい敗血症診断法の開発を進めている。また重症感染症では、しばしば全身性炎症反応症候群 (SIRS : systemic inflammatory response syndrome) を来すが、この本態はサイトカイン産生異常に起因する生体の過剰防御反応であることが明らかとなってきた。従って、過剰なサイトカインを制御することにより感染症の治療成績が向上する可能性があることに着目し、臨床的ならびに基礎的に新しい治療法の開発も視野に入れ、検討を行っている。近年、我が国に新興リケッチア感染症・日本紅斑熱の届出が急増し死亡例も増加しているため、適切な治療法の確立と疫学調査が急務となっている。最近では、感染制御を目的としたサーベイランスの充実を目指し、院内患者のMRSA保菌者ならびに、血液培養陽性者の調査を開始した。このことによる院内感染の防止や、重症感染患者に対する適正治療の推進に対する有効性を評価している。

キーワード

耐性菌の制御 , 院内感染対策 , 敗血症の臨床 , HIV感染症の臨床 , リケッチア感染症重症化機序解明

業績年の進捗状況

特色等

本学の理念との関係

理念である「高い倫理観のもと、独創的かつ地域の特色に鑑みた医学研究を行い、専門医療を実践する」に合致する。コンプロマイズドホストに合併する感染症および、健常者にも発症するリケッチア感染症の分野においては、先進的な診療、研究を進め、国内外において積極的な共同研究を行っている。また、福井県における感染制御を推進する病院として、あるいはエイズ治療の中核拠点病院として、他医療機関との広範かつ密接な社会的ネットワークの構築を推進するとともに、県内の医療関係者のみならず福井県民に対しても情報提供に務め、住民の期待に答えるべく地域医療の推進に努めている。

3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター (うち原著のみ)	
		2018～2023年分	2024年分	2018～2023年分	2024年分
和文原著論文		12	1	—	—
	ファーストオーサー	1	0	1.707(1.707)	0(0)
英文論文	コレスポンディングオーサー	1	0	1.707(1.707)	0(0)
	その他	26	0	74.673(72.938)	0(0)
	合計	27	0	76.38(74.645)	0(0)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書 (分担執筆)

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文 (審査有)

b. 原著論文 (審査無)

c. 原著論文 (総説)

d. その他研究等実績 (報告書を含む)

24001

Itou Kazuhiro, Kabata Daijiro, Shigemi Hiroko, Hirota Tomoya, Sakamaki Ippei, Tsutani Hiroshi, Mitsuke Yasuhiko, Iwasaki Hiromichi: In reply to the Letter to Editor regarding "Evaluation of tetracycline and fluoroquinolone therapy against Japanese spotted fever: Analysis based on individual data from case reports and case series, International Journal of Antimicrobial Agents, 64(2), 107246, 202408, DOI: 10.1016/j.ijantimicag.2024.107246, #4.9

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書 (分担執筆)

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文 (審査有)

b. 原著論文 (審査無)

24002

伊藤和広, 深谷一動, 鈴木友輔, 桐場千代, 栗田敦, 大槻希美, 津谷寛, 見附保彦, 岩崎博道.: 異なる治療方針であった日本紅斑熱の2症例, 日本病院総合診療医学会雑誌, 20(5), 295-300, 20241016, DOI: 10.60227/jhgmwabun.20.5_295 (症例報告)

c. 総説

d. その他研究等実績 (報告書を含む)

24003

岩崎博道: リケッチア感染症 (日本紅斑熱を中心に), 今日の治療指針, 1258-1261, 20250215

24004

岩崎博道: 重症熱性血小板減少症候群, 今日の治療指針2025年版, 171-172, 20250101

24005

岩崎博道: ダニ媒介感染症, Medical Practice, 41(6), 884-889, 20240601

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(4) その他の研究会・集会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
特許権	迅速な手指消毒方法及び迅速手指消毒装置	岩崎博道, 飛田征男

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額	
区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額	

(B) 奨学寄附金

受入件数	0
受入金額	¥0

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本輸血・細胞治療学会	評議員	岩崎 博道
リケッチア研究会	代表世話人	岩崎 博道
日本化学療法学会	Journal of Infection and Chemotherapy編集委員	岩崎 博道
日本内科学会	評議員	岩崎 博道
日本感染症学会	施設内感染対策相談窓口回答者	岩崎 博道
日本感染症学会/日本化学療法学会「発熱性好中球減少症」WG委員		岩崎 博道
日本感染症学会中日本地方会学術集會	学術奨励賞審査員	岩崎 博道
日本リケッチア症臨床研究会	副会長・事務局長	岩崎 博道
日本感染症学会	専門医問題作成委員	岩崎 博道
中部リウマチ学会	一般委員	岩崎 博道
日本内科学会北陸支部	評議員	岩崎 博道
日本血液学会	評議員	岩崎 博道
日本化学療法学会	評議員	岩崎 博道

業績一覧

日本化学療法学会西日本支部総会	評議員	岩崎 博道
日本造血細胞移植学会	一般会員	岩崎 博道
日本環境感染学会	評議員	岩崎 博道
日本臨床腫瘍学会	一般会員	岩崎 博道
日本検査血液学会	評議員	岩崎 博道
日本痛風・核酸代謝学会	評議員	岩崎 博道
日本輸血・細胞治療学会北陸支部会	評議員	岩崎 博道
日本感染症学会	評議員	岩崎 博道
日本感染症学会中日本地方会	評議員・理事	岩崎 博道
日本臨床薬理学会	評議員	岩崎 博道
日本衛生動物学会西日本支部	会計幹事	岩崎 博道
日本感染症学会	厚生労働省委託院内感染対策講習会講師	岩崎 博道
日本血液学会	学術集会医員	岩崎 博道
日本癌学会	一般会員	岩崎 博道
日本内科学会	一般会員	岩崎 博道
日本血液学会北陸地方会	評議員	岩崎 博道
日本リウマチ学会	一般会員	岩崎 博道
日本医真菌学会	一般会員	岩崎 博道
日本癌治療学会	一般会員	岩崎 博道
日本老年医学会	一般会員	岩崎 博道
日本臨床微生物学会	一般会員	岩崎 博道
日本衛生動物学会	一般会員	岩崎 博道
米国微生物学会	一般会員	岩崎 博道
日本感染症学会	感染症専門医制度審議委員会委員	岩崎 博道
日本内科学会北陸地方会	運営協議会委員	岩崎 博道

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
-----------------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長（主査）・委員の別	氏名	査読編数
----------	-------	--------------	----	------

(E) その他

24006	新型コロナ 濃厚接触者に検査 福井モデル 次への教訓 岩崎教授（福井大病院）今月末退任 「日本人8割 抗体保有」（福井新聞），20250318
24007	笠原良策描いた映画公開 命つなぐ姿 現代こそ響く（福井新聞），20250128
24008	ダニによる日本紅斑熱を発見 命名（福井テレビ），20241005
24009	感染拡大…コロナ第11波 4週連続 1医療機関10人以上（福井テレビ），20240818
24010	マダニ媒介の感染症 危険 増加傾向、県内でも報告 草むら、やぶ、肌の露出避けて 死亡率10%、治療薬ない病気も（福井新聞），20240509

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
	福井県健康福祉部健康医療局保健予防課	福井県エイズ予防対策委員会委員、福井県エイズ予防対策委員会医療研究専門部会委員		20240610-20250331
	福井県衛生環境研究センター	研究課題評価委員、機関評価委員		20240401-20250331

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項